

人間と生活・社会の理解

基礎分野

授業科目	多言語コミュニケーション	講師	氏名	アン・クレシーニ	開講年次	単位・時間	
			所属	大学	1年次 前期	1単位 30時間	
			実務経験	准教授			
科目のねらい	コミュニケーションとは、人間が互いに意思・感情・思考を伝達する事である。コミュニケーションの理論の基礎を学び、看護におけるコミュニケーション能力を高める。また、現在の国際社会に対応しうる能力を備えるための世界共通言語である英語を活用し、医療現場で活用できるコミュニケーションを学ぶ。						
到達目標							
知識・技術	1. 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについて理解し説明できる。 2. 英語を活用したコミュニケーションを理解できる。 3. コミュニケーション方法を活用し医療現場で活用できるコミュニケーションを身につけることができる。						
思考・判断・表現	1. 積極的にコミュニケーション方法を活用できる。 2. 英語やコミュニケーション方法を活用し、対象への意思の伝え方を考えることができる。 3. 多言語や多国語を活用し、自己紹介ができる。						
主体的学習態度	1. 対象を理解し、自らコミュニケーションをとる。 2. 興味のある多言語・外国語を調べ自己紹介文を作る。						
科目評価	定期試験80点、自己紹介20点、 合計100%						
テキスト	入門・やさしい日本語・外国人と日本語で話そう (アスク出版) 即使える「病院英語」ハンドブック (kindie版)						
参考文献							
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項
		講義	演習	その他			
1	コミュニケーションとは	○			アン・クレシーニ	医療現場のコミュニケーション 各専門看護 災害看護 国際看護	
2	正しい日本語 (敬語・尊敬語・謙譲語)	○					
3	英語を使ったコミュニケーション	○	○				
4		○	○				
5		○	○				
6		○	○				
7		○	○				
8	英語圏の方との優しい日本語を使ったコミュニケーション	○	○				
9	1) はっきり伝える 2) 最後まで言う 3) 短く言う 4) 敬語はつかわない 5) オノマトペ 6) 二重敬語	○	○				
10		○	○				
11		○	○				
12		○	○				
13	自己紹介	○	○				
14		○	○				
15		○	○				

講義ではロールプレイを含めて行います。

グループで好きな多言語（非言語的コミュニケーションを含む）や外国語を調べ、自己紹介を考える。

3分間の自己紹介を行う。